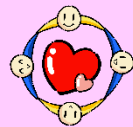


育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.199

2021. 2. 1

新年のごあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ

皆様、お元気で新年をお迎えのことと存じます。昨年はコロナウイルス感染拡大防止のため、例年通りの活動ができない状態になりました。まだまだ先の見えない状況で不安が募りますが、お身体大切にお過ごしください。役員一同、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、今年度は障害者の「住まい方」「暮らし方」について、皆様のご意見を伺いたいと考えています。近年、入所施設を希望する方の声を聴くことが多くなりました。3月には「川崎市複合福祉センター ふくふく」の障害者入所施設が開所しますが、多くの方が申し込まれたと聞いています。入所施設・グループホーム・日中サービス支援型グループホーム・シェアハウス・ヘルパーを利用した1人暮らしと選択肢が増えてきました。しかし、希望したからといって直ぐに入れられないのが現実です。どこを選択しても漠然とした不安に駆られ、安心できないのではないのでしょうか。「何をどうすればよいのか」一緒に考え、令和4年度予算要望に繋げていきたいと思えます。本人にあったより良い選択ができるようにしたいです。それぞれの思いをお聞かせください。

また、1月16日(土)に川崎市民プラザで開催を予定していましたが「成人を祝う会」がコロナウイルス感染拡大のため中止になりました。新成人の皆様とご家族の皆様、ともにお祝いできるのを楽しみにしていましたが誠に残念です。成人された方々の今後の活躍を期待します。そして、楽しい人生を送られることを願います。当会も一助となるよう、一緒に歩んでいきたいと思えます。

新成人の皆様が、ますます幸せになられますように、心よりお祈り申し上げます。



ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



令和2年度障害者週間 「連続セミナー」

『感じるから始める障害の理解！』～「見て」「体験して」「知って」「感じて」ひろげる～
 会計補佐 三浦 ひろみ

12月6日（日）有楽町朝日スクエアにて開催された「連続セミナー」に、当会から3名で参加いたしました。今年のセミナーは、バリアフリー演劇と知的・発達障害にスポットをあてた啓発キャラバン隊のお話と疑似体験でした。

【出演】

バリアフリー演劇 東京演劇集団『風』 江原 早哉香 柴崎 美納 小島 祐美

疑似体験 新宿区手をつなぐ親の会『Winds』
 内藤 美那子 中川 淑江 今井 康之 立原 麻里子 梶 智子

【東京演劇集団『風』について】

東中野に拠点劇場を持ち、2019年からバリアフリー演劇を始め、演目は「星の王子さま」と「ヘレン・ケラー」の2つ。目や耳に障害がある人もない人も、一緒に感じ共有できる演劇を提供しています。例えば、舞台上には演者だけでなく、演者のすぐ隣には手話通訳がいたり、スクリーンに字幕が流れていたり、セリフの声以外にも音声ガイダンスが流れ「今、肩に手を



話で、「演劇は一つ間違えると排除になるが、ここではセリフが主ではなく、手話が主の人も字幕が主の人もいる。そのため、普通の舞台のセオリーには無いものがここにはあり、舞台全体が豊かになったと感じる。社会には自分と違う人がいることを観客は自然に受け入れてくれた。」と、話していたのが印象に残りました。

【新宿区手をつなぐ親の会『Winds』について】

全国手をつなぐ育成会連合会でも啓発隊の推進に力を入れており、結成5年目の『Winds』は、イベントブース型の疑似体験「シングルフォーカス体験」と「軍手をはめて、お財布からお金を出す体験」の2つを公演されました。当会でも昨年4月に「かわさきキャラバン隊」が誕生しましたが、同じねらいのプログラムでも体験の方法が様々で、「こんな切り口もあるのか！」と、目からうろこが落ちるような思いがしました。

『Winds』の皆さんは公演経験も豊富で、参加者との受け答えにも余裕が感じられ、啓発キャラバン隊のお手本となる疑似体験を披露していました。それは、単に知識を伝えるだけでなく、参加者が障害者の気持ちに共感した上で障害理解へとつなげる、疑似体験ならではの啓発活動そのものでした。

今回の『Winds』の公演は、たくさんの刺激を私に与えてくれました。これから、このコロナ禍でも、「かわさきキャラバン隊」を通して、知的障害疑似体験をより多くの皆さんに知ってもらい、体験してもらえるように、メンバー全員で力を合わせて頑張っていこうと強く思いました。



川崎市障害者団体部会リーダー研修

副会長 吉野 明美

10月30日（金）川崎市社会福祉協議会「障害者団体部会」のリーダー研修が、開催されました。

日々、障害者の社会参加や様々な分野での活躍を目的として活動している各団体のリーダーが集まり、横浜のイングリッシュガーデンを散策しながら、障害者福祉への関心や相互理解について語り合い、交流を深めました。障害によって不自由に感じることも違いますが、一緒に行動して困り感を直接知ることができました。互いの理解は、このようにして深まっていくのだなあ、と思いました。

そして、イングリッシュガーデンに咲くいろいろな種類の薔薇の美しさやハロウィンの装飾が、参加した私達に胸躍る共感までも与えてくれました。

久しぶりに優しく心温まる有意義な時間を過ごすことができました。



NPO 法人かわさき障がい者権利擁護センター学習会

『母親のための遺言書&新型コロナの中での避難（防災）』

今回の学習会は、11月11日（水）オンラインで開催されました。

主に司法書士の神谷直さんから遺言書についてお話を伺いました。母親が自ら遺言書を作成する場合は、ミス为了避免するためシンプルな内容が良いとのアドバイスがありました。法務局が令和2年7月より開始した「自筆証書遺言保管制度」を利用すれば、制度の注意事項に沿った自筆の遺言書を「遺言書保管所」に預けることができます。改ざんされるなどの問題が無くなる上に、作成から関わってくれる公証役場の公正証書遺言と比較しても費用が少なくすむ利点があるとのこと。遺言書は争いの原因とならないように慎重に作成し、保管することが大切とのことでした。



また、コロナ禍での避難など防災については、田部井恒雄さんからお話がありました。避難所のスペースは、これまでとは違い、「健常者」「要配慮者」「体調不良者」に分けられ、「濃厚接触者」は別の施設での避難となるそうです。近くの避難所についてのどのような対応になるのか確認をするなど、現況に沿った災害への備えが必要だと痛感しました。

そして、この学習会の間、弁護士の大石剛一郎さんがチャットを利用して、「自筆証書遺言保管制度」のメリットと、「避難所での合理的配慮の提供」について補足説明してくださいだったので、それぞれのテーマについて権利擁護の視点からも理解が深まりました。

今回の学習会で得た知識を、今後に役立てたいと思います。

（小澤 千枝）

『手をつなぐ』を購読しませんか！

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関誌『手をつなぐ』は、身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報が満載です。

年間購読料は、3,900円

毎月、皆様のお手元に郵送、または、支部役員を通じてお届けいたします。

関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡ください。



かわさきキャラバン隊出張講座

権利擁護委員長 仁尾 智都子

10月6日(火)「かわさきキャラバン隊」出張講座をNEC玉川事業場会議室で行いました。参加されたのは、「NEC玉川プロボノ倶楽部」というボランティア活動をしている皆さんで、「知的障害疑似体験」のオンライン化に関心を持ってくださっています。

当日は、オンラインでも公演を発信し、「絵にしてみよう」「これなあに？」などの定番の疑似体験の他に、「伝えてみよう」という体験も初披露しました。「NEC玉川プロボノ倶楽部」の方々はこの疑似体験を通して知的障害のある人の戸惑いにより深い理解を示してくださったように感じました。

「知的障害疑似体験」は、実際に目の前にいる参加者とのやりとりから障害者理解が生まれる活動です。そのため、オンライン化には創意工夫が必要ですが、コロナ禍でもこの活動を進めて行くための一つの選択と考えて、パソコン等機材購入のため、助成金の申請もしました。
(裏表紙に写真を掲載しました)

* 現在、「NEC玉川プロボノ倶楽部」様のご協力をいただきながら、来年度のオンラインによる啓発活動に向け、プログラムを作成しています。楽しみにしてください。

啓発キャラバン隊オンライン研修会

権利擁護副委員長 西澤 知子

12月3日(木)全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センターの啓発キャラバン推進委員会が主催した「オンライン研修会」が開催され、視聴しました。

150人超の視聴者、200枚以上の録画DVDの申し込みがあったそうで、その数の多さから、コロナ禍でも、多くの人に知的障害児者の気持ちを理解してもらいたいという全国の会員の切なる思いを感じました。

研修会の最初に、又村あおい氏の基調講演があり、「障害のある人もない人もお互いを理解・尊重して、イヤな思いをせずに気持ちよく暮らせる」のが「共生社会」との説明を聞き、「ああ、なるほど」と、腑に落ちました。

また、北海道から広島までオンラインで参加された「啓発キャラバン隊」の方々も、それぞれ特色のある知的障害疑似体験のプログラムを公演してくださり、とても参考になりました。ぜひ、「知見共有」(まね)させていただきたいと思います。

今回、「オンライン研修会」を視聴し、離れている人ともつながれる、自宅からでも活動に参加できるという魅力に気づきました。

「育成会の活動は元気に明るく楽しんで」との久保会長(全国手をつなぐ育成会連合会)の言葉を、昨年度、発足した「かわさきキャラバン隊」で実現できるようにしたいと思います。



知的障がい児者・自閉症児者の

生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援

●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険 生活サポート総合補償制度

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

主な補償内容		
病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術/各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2019年11月現在の内容です。(D-004329 2021-03)

※令和2年11月現在ご加入者は9,600余名です。毎月1日付で加入できます。今後ともご加入よろしくお願ひします。

令和2年度 川崎市障害者週間の記念のつどい・表彰式

副会長 吉野 明美



11月17日（火）川崎市役所第3庁舎において、障害者週間 記念のつどい・表彰式が行われました。

心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスターの優秀者と市民の福祉功労者の表彰があり、川崎市育成会手をむすぶ親の会からは、広報委員長三浦ルイ子さんが、「心身障害児（者）福祉功労者（育成功労者）」として表彰されました。お祝いを申し上げますとともに、ますますのご活躍をお祈りいたします。

支部通信

「なかはら障害者支援施設ひらま」見学

川崎支部 加藤 敦子

12月1日（火）川崎支部では、「ひらま」の施設見学会を実施しました。昨今の状況下でも快く見学を受け入れていただき、参加者は12名でした。今回は川崎駅始発のバスを利用しましたが、20分弱の乗車で停留所から徒歩3分の立地は、アクセスの良さを実感しました。



3階建ての館内を、2グループに分かれて見学。短期入所事業所、生活介護事業所、日中一時支援事業所の案内をしていただきました。木目を基調とした館内は温かみにあふれ、周囲に大きな公園があるからか、窓から差し込む光が明るく開放感がありました。お風呂は広いものと、大勢で入るのが苦手な方のために1人用もありました。また、クールダウンできるスペースが設けられていて、個々の状況に対応できる工夫がされていました。

短期入所事業所には個室が12床あり、利用者に応じて必要な備品等は適宜用意していただけるとのことで、気持ち良く安心して過ごしてもらいたいという配慮が至る所に感じられました。

現在、木曜日から土曜日までの開所ですが、参加された皆さんは、「ぜひ、利用してみたい」との感想を持たれたようでした。

おしゃべり多摩

多摩支部 神田 明子



12月4日（金）新居に移った福祉パルたまの研修室で行いました。コロナ禍の中、今年度初の開催でした。研修室を使うにあたり、その場での検温と連絡先記入、手指の消毒、距離をおいての着席ということで、私たちも感染予防に心がけながらも久しぶりに皆さんといろいろおしゃべりをしました。

第5次ノーマライゼーションプランの内容にやり切れなさや不安を感じ、学校卒業後、いったんは就職したものの永久ではないということ、では、「どうあるべきか」などを話し合いました。

今回、近況を語り情報を得る機会はとても重要だと実感いたしました。しかし、今の状況ではままならないのが歯がゆい限りです。コロナの終息を切に願うばかりです。

私たちの広場

——「勉強会」 令和2年11月8日実施 ——



感染症予防に神経をとがらせる毎日が続き、心だけでなく身体の調子も重くなりがち。そこで、今回は“身体を動かしたい”という要望が多く、テーマは「ストレッチ」に決定。

当日は NPO 法人高津総合型スポーツクラブ S E L F の鈴木章弘先生（日本スポーツ協会公認指導者 スポーツプログラマー）に来ていただきました。まずは、健康についてスライドを使い、全員が思考しながら楽しく参加できるような講義でした。健康には「運動」「休養」「栄養」が大事で、健康を保つことで生活習慣病が予防できることがわかりました。

次にストレッチをしました。心臓から遠い指、手首から始まり、足裏をゴルフボールでころがしほぐした後、立ってゴルフボールを足指でつかみ、容器に入れられるかチャレンジ。「ワッ」と盛り上がりました。身体全体を使ったストレッチになり、最後はラジオ体操で締めくくり。

皆さんから「気持ちがあほぐれてよかったです。」などの感想をいただき、心も身体もスッキリした勉強会になりました。（事務局）



令和2年度川崎市障害者作品展



今年も「アートガーデンかわさき」にて、12月16日（水）から20日（日）まで、作品展が開催されました。

新型コロナウイルスの影響かと思われませんが、作品数も、観覧している人の数も、いつもより少なく感じました。

それでも、障害者施設の方々の四季を描いた合同作品や、書道、昆虫などを立体的に表現した切り紙、写真など、個性的な作品を心ゆくまで堪能できました。

毎年、出展されている方の作品の前では、「新作かな?」「新しい表現が加わったかな?」などと、わくわくしたり、感心したりして、久しぶりに楽しい時間を過ごしました。

ただ、世の中全体が、一か所に長居をしてはいけなような状況ですから、一通り見たところで早々に帰宅しました。

来年は、友人と誘い合い、ゆっくり一つ一つの作品を楽しめたらと思います。そして、たくさんの方が訪れる、いつもの作品展に戻っていることを願っています。（高山 君子）



川崎育成会・やまゆりとの共催研修会のお知らせ

日 時：令和3年3月15日（月）10：15～12：00

場 所：てくのかわさき てくのホール2F

講 師：又村 あおい 氏（全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長）

テーマ：新型コロナウイルス感染症と障がい児者の暮らし

～ with コロナ時代の知的・発達障がいのある人への支援とは ～

その他：当日の新型コロナウイルス感染対策や申込方法などについては、チラシをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染状況によっては中止となる場合があります。



オンライン研修会 ー参加してみましたー

最近、たくさんの方が一か所に集まることが難しいため、「オンライン研修会」という形で研修会が開催されています。でも、オンラインというと、「苦手だな」と思われる方もいらっしゃるでしょう。そこで、「それほど難しくありませんよ」ということをお伝えしたいと思います。実は、私も、完全に理解できているわけではないのですが、何度か、パソコンで参加したオンライン研修会のことを思い出しながら、お知らせします。

1. 研修会のお知らせが届く

まず、「研修会のお知らせ」が届きます。メールが届く場合と、紙に印刷された『チラシ』が届く場合があります。



2. 参加申込をする

①メールでお知らせを受け取ったとき

参加申込書に記載事項を打ち込み、メールに添付して申込先のメールアドレスに送信します。自分のメールアドレスを間違えないようにしましょう。

②『チラシ』でお知らせを受け取ったとき

参加申込書に必要な事項を記入して、ファックスで申込先に送信するか、コピー機でスキャンしてメールに添付して、申込先のメールアドレスに送信します。この場合も、自分のメールアドレスを忘れずに記載してください。

3. 参加費を支払う

参加費の支払いが必要なときは、お知らせにある**振込先**に振り込みます。振込票は保管しておきましょう。

4. メールに返信が来る

参加費の確認がとれると、オンライン研修会の主催者、または、申込先の事務局などから、オンライン研修会に参加するときに必要なID、パスコードが送られてきます。参加費がない場合は、申込をするとすぐに主催者から返信がきます。

また、オンライン研修会を受けるときに必要なアプリの使い方などの説明が、URLで送られて来ることが多いようです。これを使って、アプリのダウンロード、インストールができるようになっていることがほとんどです。

5. アプリをインストールする

4の説明にあるURLを使って、アプリをインストールしておきましょう。

6. 研修会当日は・・・



オンライン研修会当日、インストールしておいたアプリを開き、IDとパスコードを入力すると、研修会に参加できます。多くの場合、研修会の10分前くらいから参加できるように主催者側が画面をつないでおいてくれます。

時間になったら、研修会の始まりです。チャットは、主催者の許可があるときのみ使えます。研修会が終わったら、「ミーティングを退出」というところを左クリックして終わりになります。

最初は、ドキドキするかもしれませんが、ぜひ、挑戦してみてください。

(仁尾 智都子)

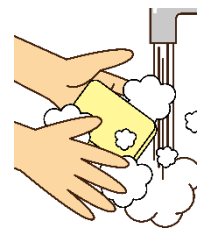
新型コロナウイルスに思う

多摩支部 神田 明子

世界が一変してしまうこの事態に驚いています。コロナ感染予防のため手洗い、マスク着用が生活の一部でしたが結果として去年は風邪をひくことなく、花粉症も軽症ですみました。外出から戻ると手を洗わずにはいられない、マスク無しでは外出できず、人混みは避け、買い物は開店直後の比較的空いた時間を利用。かつては日差しを避けるために被っていた帽子でしたが、ウイルスから頭髪を守るために使っています。

家族がノロウイルスにかかった場合のセットとしてゴーグル、手袋、長袖エプロン、エプロンなどを数年前から常備しているのですが、「一刻も早くそのセットをコロナウイルスにも対応できるように追加していろいろと用意しないと」と、思っています。いつ、誰が罹ってもおかしくない状況になってきているようです。

幸い息子はマスクを嫌がらず、手洗いやアルコール消毒も抵抗なくしてくれているので助かっています。ただ、送迎車に乗る回数が減っていること、楽しみにしていたクリスマス会が軒並み中止となり「おかしい」と思っているようです。一日も早く元の生活に戻れるよう祈っています。



中原支部 木村 益美

息子（間もなく20才）は生活介護施設で農業をしています。自宅から電車とバスを利用して1時間と通勤時間はかかりますが、仲間やサポートしてくださる皆さんにも恵まれ楽しく通っております。新型コロナウイルスの発生以来、まず思うことは仲間たちが通所できるよう様々な工夫を凝らし運営してくださる施設関係者の皆さんへの感謝です。

息子の楽しみにしているイベントが次々と中止となる中、先日は、成人を祝う会中止の連絡もありました。人との関わりが大好きな息子にとっては、制限のある今はさみしく、ストレスがある生活と感じているようです。

そこで、我が家のコロナ中の楽しみ。それは、お散歩とちょこっとハイキングです。川崎市には今までは気づきもしなかった気持ちの良いお散歩コースがたくさんあります。また、少し足をのばして葉山のハイキングコースなど。ちょっと変わった虫やドングリ、草花を見つけては家族でワイワイ話しながら歩くのは、ストレス解消には良いようです。

まだ終息までに少し時間がかかりそうです。この状況だからこそこの気づきと経験ですが、どんなときも、息子と一緒に楽しめる何かを見つけていけたらと思っています。



それぞれの毎日すったもんだ生活

川崎支部 安達 ゆかり

我が子29才は、小さな頃から、子どもの声が苦手です。一緒に買い物に連れて行くと子どもの話し声を聞いて、パニックになってしまうことがよくあります。キッとした目になり、子どもを凝視したかと思うと体を上下に揺らして怒り始めます。その場を去ろうと「行くよ」と手を握ると「なぜ、僕が行かなくちゃいけないの?」と言わんばかりに抵抗して動かなくなります。帰らねばと必死になっていると、私の頭に重い衝撃が走りました。息子からの頭突きだとわかり、痛さと惨めさに涙が出てきました。負けずに「行くよ」と伝え、自分の気持ちをぶつけたからなのか、あっさり帰ることができました。

そんな時、お医者さんから「彼は嫌な音や声が、どこから聞こえるのかを確認しているのではないか」との話がありました。息子の気持ちを思いやるのが大切であり、困った行動にも理由があることに気付きました。「今までごめんね」と息子に謝りました。



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告
 《令和2年10月22日～令和3年1月20日まで》

<各種会議、行事>

1 1月	2日 (月)	かわさきキャラバン隊打ち合わせ	地域福祉施設「ちどり」
	9日 (月)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
	10日 (火)	第2回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
	13日 (金)	第2回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
	20日 (金)	第3回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
	24日 (火)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
1 2月	8日 (火)	川崎市弘済会より寄付受領	地域福祉施設「ちどり」
	8日 (火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
	9日 (水)	第3回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
	11日 (金)	かわさきキャラバン隊打ち合わせ	地域福祉施設「ちどり」
	15日 (火)	第4回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
1月	8日 (金)	三役会議	オンライン
	20日 (水)	第5回運営委員会 (中止)	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

1 0月	22日 (木)	川崎市障害者施策審議会	ソリッドスクエア
	26日 (月)	川崎市社会福祉協議会評議員会	川崎市総合福祉センター
	30日 (金)	障害者団体部会リーダー研修会	横浜
1 1月	6日 (金)	令和3年成人を祝う会実行委員会②	地域福祉施設「ちどり」
	12日 (木)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
	19日 (木)	障害者支援区分認定審査会 (市合議体)	ソリッドスクエア
1 2月	1日 (火)	川崎市障害者作品展実行委員会	サンピアンかわさき
	2日 (水)	令和3年成人を祝う会実行委員会③	地域福祉施設「ちどり」
	2日 (水)	障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
	3日 (木)	全育連啓発キャラバン隊オンライン研修会	オンライン
	6日 (日)	障害者週間連続セミナー	有楽町朝日スクエア
	7日 (月)	やまゆり事業推進委員会	オンライン
	11日 (金)	やまゆり理事会	オンライン
1 6日～20日		川崎市障害者作品展	アートガーデンかわさき
	17日 (木)	障害者支援区分認定審査会 (市合議体)	ソリッドスクエア
	25日 (金)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	JA セレサみなみビル
1月	7日 (木)	日本発達障害者連盟理事会	オンライン
	16日 (土)	令和3年成人を祝う会 (中止)	川崎市民プラザ
	18日 (月)	市社協評議委員会	川崎市総合福祉センター

寄 付 一般社団法人 川崎市弘済会 100,000 円

吉野 謙二	中原区市ノ坪	5,000 円
川村 ふじ江	幸区南加瀬	3,000 円
高井 美恵子	幸区南加瀬	30,000 円
阿部 多賀子	川崎区富士見	5,000 円
伊東 早苗	川崎区大島	5,000 円
加藤 敦子	川崎区藤崎	5,000 円
匿名	川崎区	3,000 円
匿名	川崎区	3,000 円
匿名	川崎区	1,000 円
匿名	川崎区	1,000 円



今年も、ご寄付を賜り
感謝申し上げます。

(順不同・敬称略 1,000 円以上を
記載しています。)

かわさきキャラバン隊出張講座アルバム

NEC玉川事業場会議室 2020.10.06



公演当日は、フェイスシールドをして「かわさきキャラバン隊」の活動を行いました。

「かわさきキャラバン隊」では、メンバーを募集しています。関心のある方は、ぜひ、ご連絡ください。お待ちしております。

編集後記

この199号が皆様のお手元に届くころには、もう梅の花や河津桜が咲いているでしょうか。今年は寒いのでいつもより遅いかもかもしれませんね。

昨年から、いろいろと不安になったり、悩んだり、戸惑ってしまったたり、ということが多くなったような気がします。

でも、春は来ます。花も咲きます。さあ、顔をあげて、上を向いてすごしましょう。

(高山 君子)



【もくじ】

- P. 1..... 美和会長新年あいさつ
- P. 2..... 障害者週間連続セミナー
- P. 3..... リーダー研修会/NPO 法人研修会/手をつなぐ購読のお知らせ
- P. 4..... 啓発キャラバン隊オンライン研修会/やまゆり広告
- P. 5..... 障害者週間表彰式/支部通信
- P. 6..... 私たちの広場/障害者作品展/研修会のお知らせ
- P. 7..... オンライン研修会 -参加してみました-
- P. 8..... 新型コロナウイルスに思う/それぞれの毎日すったもんだ生活
- P. 9..... 親の会活動報告/寄付
- P. 10..... かわさきキャラバン隊出張講座アルバム/編集後記/もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
 〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
 TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>